

# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

※本レポートは、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド」の実質的運用会社である、ピムコジャパンリミテッドからの提供情報を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## □ 設定来のパフォーマンス

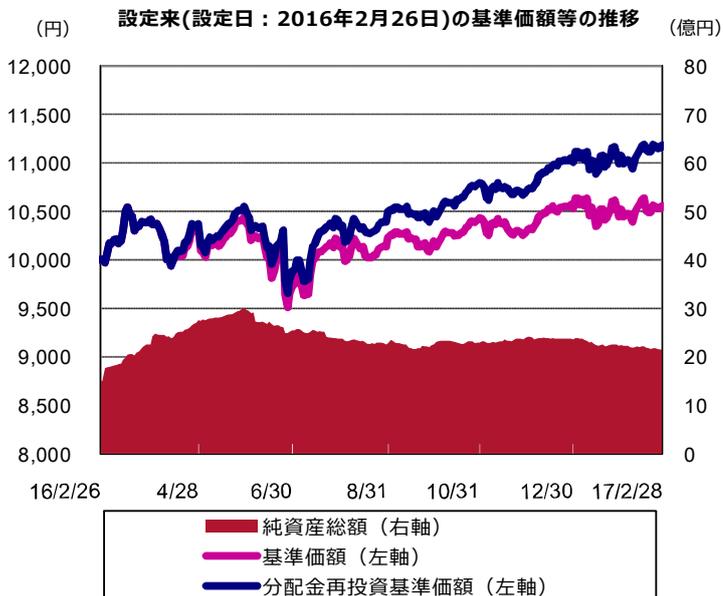
ピムコ世界金融ハイブリッド証券ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）は、2016年2月26日に設定を開始し、2017年2月末時点の設定来騰落率が11.80%、収益分配金累計額が590円と堅調に推移いたしました。

## □ 2017年の見通し

2017年においても、米国での景気回復や金融規制緩和の動き、欧州金融当局によるCoCo債投資家によって有利な規制変更等、ファンダメンタルズ面の改善が見込まれることから、魅力的なリターンを期待できると考えております。

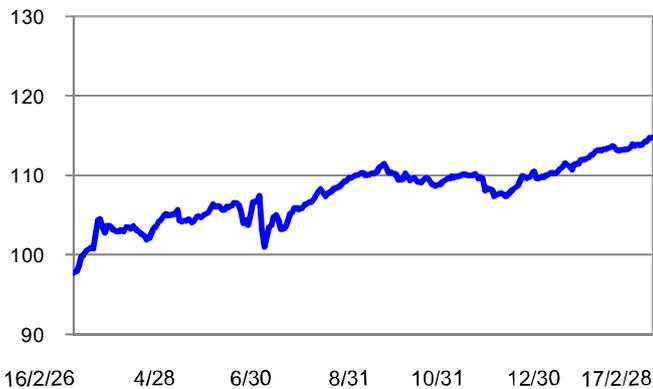
本レポートでは、設定来の金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通しに関して詳しくお伝えいたします。

ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）



※基準価額及び分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。  
※分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しています。  
信託報酬率はP10の「ファンドの費用」をご確認ください。

■ CoCo債指数の推移



※ブルームバーグのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成  
※CoCo債指数はBofA Merrill Lynch・コンティジェント・キャピタル・インデックスを使用

期間別騰落率の推移

設定来	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年
<b>11.80%</b>	0.81%	4.61%	6.54%	11.83%

※2017年2月末基準  
※騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した、分配金再投資基準価額により計算しています。

収益分配金（税引前）の推移

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	2016年 4月	2016年 5月	2016年 6月	2016年 7月	2016年 8月	2016年 9月
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円
決算期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	設定来 累計
	2016年 10月	2016年 11月	2016年 12月	2017年 1月	2017年 2月	
分配金	50円	50円	50円	70円	70円	<b>590円</b>

※収益分配金は1万円当たりです。  
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆、保証するものではありません。

■ 為替（米ドル/円の推移）



○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

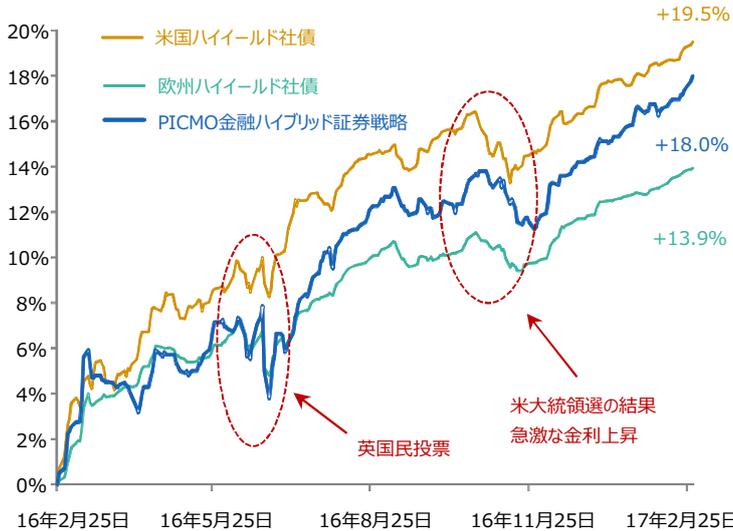
# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

※本レポートは、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド」の実質的運用会社である、ピムコジャパンリミテッドからの提供情報を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## 運用開始後1年間のパフォーマンスの振り返り

✓ 年初の中国景気の先行きに対する懸念や英国国民投票、米大統領選を乗り越えてPIMCO金融ハイブリッド証券戦略は堅調に推移

【2016年2月26日以降の各市場のパフォーマンス】  
(現地通貨ベース、報酬等控除前)



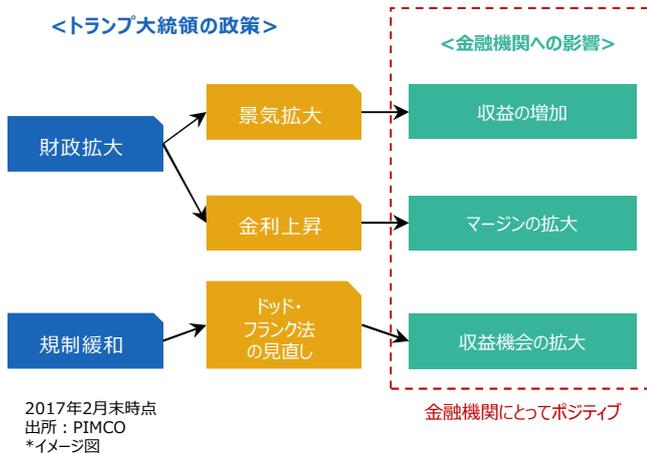
- ✓ PIMCO金融ハイブリッド証券戦略は2016年2月の運用開始来で+18.0%と大幅上昇。
- ✓ 2016年年初に欧州の一部の大手行の財務状況に対する懸念が高まる局面や、6月の英国国民投票、11月の米大統領選に伴う金利上昇局面では変動が高まる場面があったものの、その後は底堅く推移。
- ✓ 足元では米国を中心として景気回復が継続しているほか、米トランプ大統領による金融規制緩和によって金融機関の収益が改善するとの期待から上昇トレンドが継続。

データ期間：2016年2月25日\*~2017年2月末。出所：BofAメリルリンチ。\*2016年2月26日がピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）の設定時点。PIMCO金融ハイブリッド証券戦略：PIMCOが2014年5月より運用するバミューダ籍金融ハイブリッド証券戦略の個別口座を参照（信託報酬等控除前、米ドルベース）、米国ハイールド社債：BofAメリルリンチ米国ハイールドBB-Bインデックス、欧州ハイールド社債：BofAメリルリンチ欧州通貨ハイールドインデックス

## 今後の魅力②：米トランプ大統領の財政拡大政策や金融規制緩和は金融機関に対するサポート材料に

米財政拡大や規制緩和に伴い、  
金融機関の収益は改善する見通し

### 【米トランプ大統領が進める政策の金融機関に対する影響\*】



#### <好景気>

✓ 米トランプ大統領が推し進める財政拡大策は米国の景気拡大につながり、金融機関の収益を押し上げると予想される。

#### <金利上昇>

✓ 長期金利の上昇によって、金融機関の貸出金利も上昇することから収益改善につながるとみられる。

#### <規制緩和>

✓ 金融当局による規制監督を強めるドッド・フランク法の見直しが現実的になれば、金融機関は規制対応のコストを削減することが可能に。規制対応の為に縮小を余儀なくされてきた業務領域を再開できる可能性があることもプラス材料。

⇒米国における財政拡大、規制緩和の動きは概ね金融機関にとってポジティブな影響をもたらすことから、金融ハイブリッド証券のサポート材料であるとみられる。

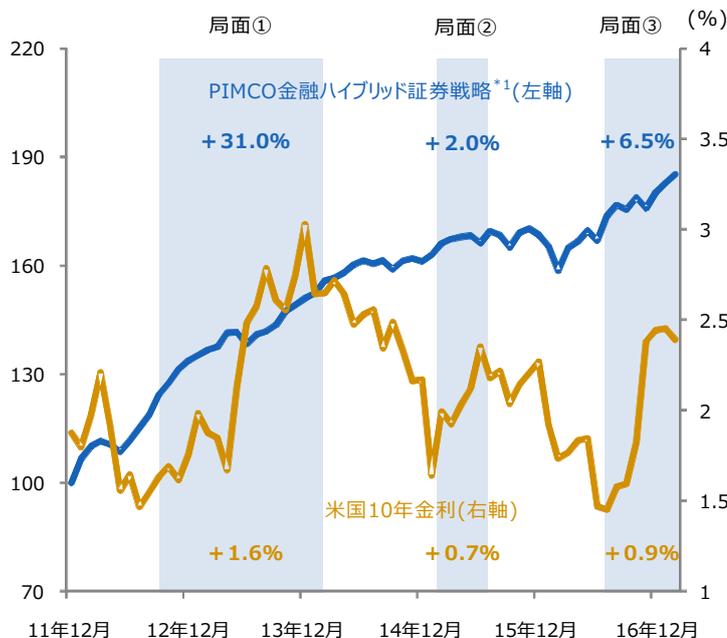
○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

※本レポートは、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド」の実質的運用会社である、ピムコジャパンリミテッドからの提供情報を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## 今後の魅力③：金融ハイブリッド証券は金利上昇に対する耐性を有する

【金利上昇局面におけるパフォーマンス】



### 金利上昇に対する耐性

＜金利上昇は金融機関にとってプラス材料＞

✓ 上述の様に、景気回復の継続や金利上昇に伴い、金融機関の収益改善が見込まれることから、スプレッド（上乗せ金利）の縮小が期待されます。

＜金利リスクは相対的に低い＞

✓ 金利リスク（金利変化に対する価格感応度、デュレーション）は一般的に金利上昇に強い資産とされる米国ハイイールド社債並みとなっています。

＜各資産のデュレーションの例、2017年2月末時点＞

米国ハイイールド社債	： 4.97年
COCO債インデックス	： 3.77年
PIMCO金融ハイブリッド証券戦略*	： 4.76年

＜優先証券は一定期間経過後、変動金利資産へ移行＞

優先証券は一定期間経過後、クーポンが固定金利から変動金利に切り替わる仕組みを有しており、将来的に変動金利の債券になることも金利上昇に対する強みとなります。

PIMCO金融ハイブリッド証券戦略\*では、米量的緩和の縮小発表に伴う金利上昇局面（局面①）や米大統領選を受けた急激な金利上昇局面（局面③）においても底堅さが確認される。

\*1：PIMCOが2014年5月より運用するバミューダ籍金融ハイブリッド証券戦略の個別口座を参照。米国ハイイールド社債：BofA Merrill Lynch 米国ハイイールドBB-Bインデックスを参照。COCO債インデックス：BofA Merrill Lynch COCO債インデックスを参照

期間：2011年12月末～2017年2月末、2011年12月末時点を100として指数化  
出所：ブルームバーグ、PIMCO

局面①：2012年7月末～2013年12月末、局面②：2015年1月末～2015年6月末  
局面③：2016年7月末～2017年2月末



# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

※本レポートは、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド」の実質的運用会社である、ピムコジャパンリミテッドからの提供情報を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## 見通し③：欧州では多くの政治イベントが予定され、市場変動が高まる局面が想定されるものの、変動局面へ備えつつ同時に魅力的な投資機会とし活用するスタンスが有効に

【ドイツ銀行のスプレッド推移と投資比率\*】



期間：2016年5月末～2017年3月3日、出所：ブルームバーグ、PIMCO  
\*PIMCOが2014年5月より運用するパミュダ籍金融ハイブリッド証券戦略の個別口座を参照

大幅なスプレッド変動が魅力的な投資機会をもたらした2016年

- ✓ 2016年にドイツ銀行は日本銀行のマイナス金利導入や米司法省による巨額の制裁金発表を受けて、同行の財政状況に対する不安が高まったことから、スプレッドが急拡大する局面が見られました。
- ✓ PIMCOでは、同行は投資銀行部門で大きなリスクを取っているにもかかわらず、スプレッドが低く割高として投資を控えてきました。
- ✓ しかし昨年の秋に、同行の財務状況対比割安感が見られる水準までスプレッドが拡大し、投資妙味が高まったとみられる局面でPIMCO金融ハイブリッド証券でも投資開始しました。
- ✓ その後、スプレッドは縮小に転じプラスリターンに寄与していません。

【2017年の政治イベントスケジュール】



出所：PIMCO

多くの政治イベントが控える2017年は、昨年同様、市場変動の高まりを収益機会として活用する姿勢が有効に

- ✓ 2016年に続き2017年も欧州を中心に、フランスの大統領選やドイツの総選挙等の政治イベントが控えている状況です。
- ✓ 政治イベントが金融機関の財務健全性に大きな影響を与える可能性は低いとみられるものの、政治動向によっては金融市場が一時的に大きく動く局面も想定されます。
- ✓ 2017年も予め市場変動が高まる局面に備えつつ、昨年同様、市場変動の高まる局面を魅力的な投資機会として活用するアクティブ戦略でリターンを高められると予想されます。

## まとめ：金融ハイブリッド証券の今後のポイント

- 大半のクレジット資産において大幅に利回りが低下する中、金融ハイブリッド証券は6%を超える利回り水準\*を維持しており、今後は魅力的な利回りが残された数少ない資産クラスとして投資家からの需要が高まることが予想されます (\*2017年2月末現在)。
- 上記の投資需要に加えて、米国での景気回復や金融規制緩和の動き、欧州金融当局によるCoCo債投資家によって有利な規制変更等、ファンダメンタルズ面の改善が期待されることもサポート材料です。
- 欧州主要国で予定されている政治イベントの動向には注意を払う必要があるものの、国地域や発行体、更には投資対象の銘柄を厳選して機動的に投資することで2017年も魅力的なリターンを期待できると考えられます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

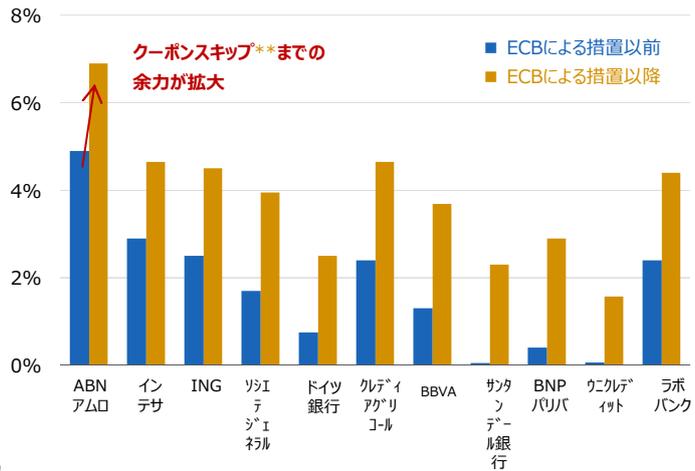
# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

※本レポートは、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド」の実質的運用会社である、ピムコジャパンリミテッドからの提供情報を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## コラム①：欧州中央銀行（ECB）によるCoCo債\*投資家に有利な規制変更もサポート材料

- 2016年7月にECBはユーロ圏の金融機関が発行するCoCo債に対して、クーポンの支払いに対する制限を緩和する措置を発表
- この措置により各金融機関の発行するCoCo債の利払いに制限がかかるまでの自己資本余力が拡大（右図）し、CoCo債の利払いが制限されるリスクが低下
- 今回の措置に加え、ECBは引き続きCoCo債の利払いに関して債券投資家により有利な取り扱いする規制変更を続けており、ユーロ圏のCoCo債に対する魅力が改善している

【各金融機関のCoCo債の利払い制限までの自己資本余力】



2016年12月末時点  
出所：PIMCO

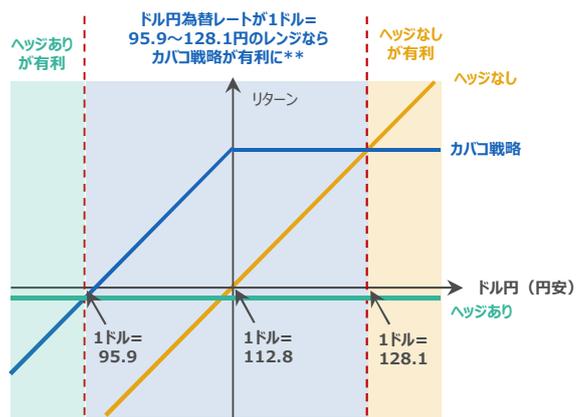
\*CoCo債とは偶発転換社債の一種で一部を自己資本に算入することが認められている永久劣後債

\*\*クーポンスキップとは、債券の利払いを見送ることを指します。

## コラム②：大幅な円安が描きにくい中、カバードコール（以下、カバコ）戦略は有効な一手に

- 米大統領選を受けて急激な米金利上昇を織り込む中ドル/円為替レートは一時1ドル=120円近くまで上昇する局面があるも、2月末時点では1ドル=113円程度まで円高が進行
- トランプ大統領が進める財政政策の動向によっては再び円安が進行する可能性はあるも、1ドル=130円を超えるような極端な円安局面を描きにくくなる中、一定の円安メリットを放棄して、ドル円のコールオプションの売却益を獲得するカバコ戦略は有効な為替戦略とみられる。
- 2017年2月末時点の為替市場に基づく試算によれば1年後の為替レートが1ドル=96~128円のレンジなら、カバコ戦略がヘッジあり/なし戦略よりも高いリターンを獲得できると期待される\*。

【カバコ戦略が有利とみられる為替のレンジ】



2017年2月末時点、出所：ブルームバーグ、PIMCO。コールオプションのプレミアムを年率15.3%と推定。ヘッジコストはスポットレートと3か月フォワードレートの差をもとに計算。

\*理論値によるものであり、市場イベント等により記載された結果とならない場合があります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

## ファンドの目的

この投資信託（以下、「本ファンド」という場合があります。）は、安定的な配当等収益の確保及び信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行います。

## ファンドの特色

**1** 主として、外国投資信託への投資を通じて世界の金融機関が発行するハイブリッド証券へ投資を行うとともに、円に対する米ドルのカバードコール戦略を活用し、安定的な配当等収益の確保を目指します。

- 外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ(C-USD)」への投資を通じ、主に世界の金融機関が発行するCoCo債等のハイブリッド証券に投資します。なお、ハイブリッド証券以外に普通社債等に投資する場合があります。
- 信用リスク等に注視しながら組入銘柄の選定を行うことで相対的に高い利子収入の獲得を目指します。
- 米ドル(対円)にかかるコールオプションの売りを行うカバードコール戦略により、オプションプレミアム収入の獲得を行い、損失の軽減や利益の上乗せを目指します。

※外国投資信託では米ドル以外の通貨で発行されるハイブリッド証券にも投資しますが、原則として、実質的に米ドル建てとなるように為替取引を行います。

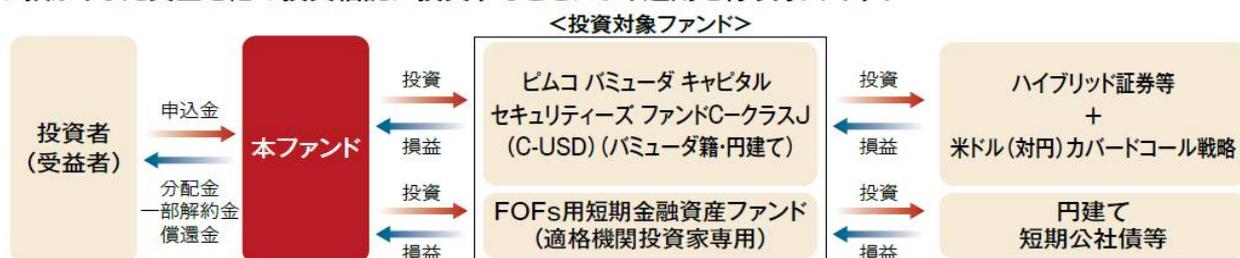
**2** ハイブリッド証券運用において高い専門性を有するピムコ社が実質的な運用を行います。

- 主要投資対象である外国投資信託は、ピムコ社(PIMCO=Pacific Investment Management Company LLC)が運用を行います。また、本ファンドの外国投資信託の運用指図にかかる権限をピムコジャパンリミテッド<sup>※</sup>に委託します。

※ピムコジャパンリミテッドは、ピムコグループの日本拠点です。

## ファンドの仕組み

本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。ファンド・オブ・ファンズ方式とは、投資者の皆様からお預かりした資金を他の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。



原則として、ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ(C-USD)の投資比率は高位を維持することを基本とします。

## 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

### ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンドに関するご留意事項

#### <基準価額の変動要因>

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

#### 主な変動要因

##### 金利変動リスク

金利は、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。また、一般に金利が上昇した場合にはハイブリッド証券の価格は下落します。これらの影響によりハイブリッド証券の価格が下落した場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

##### 信用リスク

ハイブリッド証券の発行体が経営不振や資金繰りの悪化等に陥った場合に利息の支払いが減額、繰り延べまたは停止されるリスクがあります。また、それが予想される場合にはハイブリッド証券の価格が下落し、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

##### ハイブリッド証券への投資に伴う固有のリスク

一般にハイブリッド証券の法的な弁済順位は普通株式に優先し普通債より劣後します。したがって、発行体が破綻等に陥った場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません。その場合には、本ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼす可能性があります。

一般にハイブリッド証券は、繰上償還条項が付与されていますが、繰上償還の実施は発行体の決定によるため、繰上償還日に償還されることを前提として取引されている証券は、予定期日に償還されない場合、または繰上償還を行わないと予想される場合にはハイブリッド証券の価格が下落し、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

ハイブリッド証券の一部には、発行体の自己資本比率が一定水準を下回った場合や、実質破綻状態であると規制当局が判断した場合等に、普通株式に強制的に転換される、または元本の一部もしくは全部が削減される条項（トリガー条項）等がついているものがあります。これらが実施された場合には損失が一旦確定し、本ファンドの基準価額は影響を受け大きく損失を被ることがあります。なお、普通株式に転換された場合には、株価変動リスクを負うこととなります。

一般にハイブリッド証券は、利息または配当の支払繰延条項が付与されており、発行体の業績及び財務状況等が悪化し経営不振となった場合、利息または配当の支払いが停止・繰延べされることがあります。

ハイブリッド証券に関する法制度の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、本ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

##### カバードコール戦略に伴うリスク

本ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券が採用するカバードコール戦略では以下のリスクがあります。

米ドル（対円）のコールオプションを売却するカバードコール戦略を活用するため、米ドルが円に対して上昇した場合でも、コールオプションの権利行使価格以上の値上がり益は放棄することとなります。その場合、米ドルに投資した場合に比べ投資成果が劣る可能性があります。

売却したコールオプションの評価値は、売却後に価格水準やボラティリティが上昇した場合等には上昇し、これにより損失を被り、ファンドの基準価額が下落することがあります。

換金にともないカバードコール戦略を解消する際には、市場動向や市場規模等によっては解消にともなうコストが発生し、ファンドの資産価値が減少する要因となることがあります。

コールオプションの売りを行うことにより得られるオプションプレミアムの水準は、当該売りを行う時点の価格水準や権利行使水準、ボラティリティ、権利行使日までの期間、金利水準、配当（分配）水準、需給等複数の要因により決まりますので、当初想定したようなオプションプレミアムの水準が確保できない可能性があります。

カバードコール戦略において、特定の権利行使期間で価格が下落した場合、再度カバードコール戦略を構築した場合の値上がり益は、戦略再構築日に設定される権利行使価格までの値上がり益に限定されますので、その後当初の水準まで価格が回復しても、本ファンドの基準価額の回復は緩慢になる可能性があります。

#### 本資料のお取り扱いについてのご注意

・本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、

完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。

・本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。

・投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。

・投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。

・お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

### ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンドに関するご留意事項

#### 主な変動要因

##### 為替リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、為替レートが円高方向にすすんだ場合には、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。また、本ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券では、米ドル建て以外で発行される証券については原則として、米ドル建てとなるように為替ヘッジを行います。したがって米ドルの金利が当該通貨の金利より低い場合にはその金利差相当分程度のコストがかかります。

##### 特定業種への集中投資リスク

本ファンドは実質的に金融機関が発行するハイブリッド証券を投資対象とするため、金融政策や規制当局の動向など金融セクター固有の要因によって基準価額が変動することがあります。

##### カントリーリスク

投資対象である発行体の国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合などには、有価証券等の価格が変動します。これらにより、本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

※リスクは上記に限定されるものではありません。

#### その他の留意点

- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

#### リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

#### 委託会社、その他関係法人

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会（信託財産の運用指図、投資信託説明書（交付目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。）

受託会社 三井住友信託銀行株式会社（信託財産の保管・管理業務を行います。）

- ・投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容を ご確認ください。
- ・投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- ・投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- ・投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

# 金融ハイブリッド証券市場の振り返りと2017年の見通し

## お申込み

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額（当初1口1円）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からのお支払いとなります。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日
申込締切時間	原則として午後3時までとします。なお、受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の受付分として取扱います。※受付時間は販売会社によって異なることもありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金（解約）のお申込みの受付を中止すること及びすでに受けた購入・換金（解約）のお申込みの受付を取消す場合があります。
繰上償還	主要投資対象とする外国投資信託証券が償還となる場合、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎月決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	3,000億円
運用報告書	毎年2月、8月の決算時及び償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社よりお届けします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。益金不算入制度の適用はありません。※税法が改正された場合には、変更となる場合があります。

## <ファンドの費用>

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料：購入申込金額に**3.24%**（税込）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。

信託財産留保額：かかりません。

### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理者：ファンドの日々の純資産総額に**年1.9818%**（**税抜：年1.835%**）を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。なお、委託会社の信託報酬には、運用指図に関する権限の一部を委託する投資顧問会社（ピムコジャパンリミテッド）に対する報酬年0.9072%（税抜：年0.84%）が含まれます。信託報酬＝保有期間中の日々の純資産総額×信託報酬率（年率）

運用管理費用（信託報酬）	年 <b>1.9818%</b> （ <b>税抜：年1.835%</b> ）	
内訳	（委託会社）	税抜：年 <b>1.11%</b>
	（販売会社）	税抜：年 <b>0.7%</b>
	（受託会社）	税抜：年 <b>0.025%</b>

<その他本ファンドが投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬>

・ピムコ バリュースタール キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ（C-US D）（バリュースタール・円建て）は、運用報酬などはかかりません。

委託会社の信託報酬から本ファンドの投資顧問会社であるピムコ ジャパンリミテッドに対する報酬が支払われます。

・F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）は、本ファンドが組入れる日々の残高に対し年0.1512%（税抜：年0.14%）を乗じて得た額を間接的にご負担いただきます。

・その他の費用及び手数料

ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等

（有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等）が信託財産から差引かれます。

なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。